

セットアップ & コネクション

商品を使用する前に、MOTHER-32、DFAMの取扱説明書の注意書きをご確認ください。それぞれの商品を正しい電源へ接続する前に商品はテーブルなどの平面で使用してください。1/4"標準ケーブルx2が必要となります。(同梱されています)また、パワードのスピーカーかヘッドホン、1/8"標準ミニケーブルx2(含まれていません)が必要となります。



電源

TIP: Moog Sound Studioに付属のサミング・ミキサーは、12V 3.0Aのパワーサプライとして機能し、パレル・タイプのコネクターを3つ装備し、DFAM、Mother-32と、もう1台Moogセミモジュラー・シンセサイザーに電源供給できます。DFAM、Mother-32にそれぞれ付属の12V 1200mAのパワーサプライは、それぞれを単体で使用するとき接続してください。

1A
12V 3.0Aのパワーサプライを、サミング・ミキサーのINジャックに接続します。
警告: パワーサプライをTHRUジャックに接続するとミキサーが破損するおそれがあります。12V 3.0Aパワーサプライは、必ずミキサーのINジャックに接続してください。

2A
次に、パレル・タイプのコネクター・ケーブルをDFAMの電源コネクターに接続し、もう一方のコネクターをサミング・ミキサーのTHRUジャックに接続します。

3A
ステップ2Aと同じことをMother-32でも行います。

4A
パワーサプライをコンセントに接続します。接続すると、サミング・ミキサー、Mother-32、DFAMのLEDが点灯し、電源が入ったことを表示します。

NOTE: DFAM、Mother-32、サミング・ミキサーには電源スイッチがありません。電源が入ったパワーサプライに接続すると、各機器の電源が入ります。なお、アナログ・シンセサイザーは、チューニングを安定させるために電源を入れてから数分はウォーミングアップが必要です。

オーディオ

TIP: DFAM、Mother-32、サミング・ミキサーのVOLUMEノブは、ゼロにしておきます。

1B
楽器用ケーブル(TS: 6.3mm標準プラグ)をDFAMのAUDIO OUTジャックに接続します。ケーブルのもう一方のプラグは、サミング・ミキサーのインプット・ジャックに接続します。

2B
ステップ1Bと同じことをMother-32にも行います。

3B
サミング・ミキサーのアウトプットをアンプ内蔵スピーカーやモニター・システム、またはヘッドフォンに接続します。

4B
最初にサミング・ミキサーのVOLUMEを上げてから、Mother-32とDFAMのVOLUMEを上げて、聴きやすいバランスにします。

注意: ここでのオーディオの接続にTRS (バランス) ケーブルは使用しないでください。位相の干渉が生じて、音量が極端に小さくなる場合があります。

ミキサー

サミング・ミキサーは、Moog Sound Studioに欠かせないパートです。この多チャンネルミキサー兼パワー・ディストリビューション・モジュールでDFAMとMother-32のオーディオ出力を1つにまとめて、ヘッドフォンやアンプ等にオーディオ信号を送ります。また、サミング・ミキサーは、DFAMやMother-32に電源を供給する役割も担っています。THRUジャックを使用して、もう1台のMoogセミモジュラー・シンセサイザーに電源を供給できます。

サミング・ミキサーには、4つの6.3mm標準ジャックのオーディオ・インプットがあります。内部スイッチでチャンネル1と2を1つのステレオ・チャンネル(A)にし、チャンネル3と4をステレオ・チャンネルBにすることができます。

TIP: クリップは、上図のようにサミング・ミキサーをクロスバーに固定するために使用します。このクリップを前に引き出して、サミング・ミキサーを机などの平面に設置させることもできます。